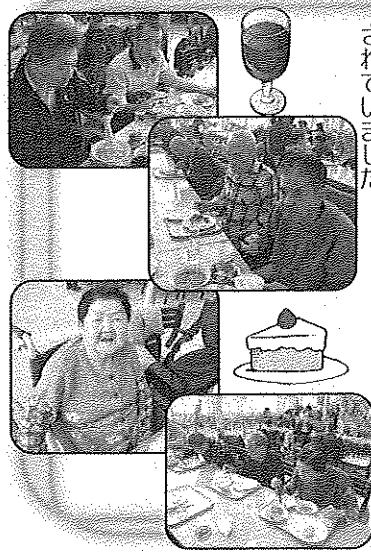


バイキング

3月10日・17日

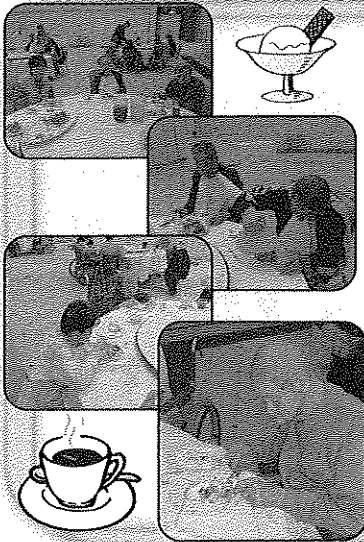
シャトルレーゼにて、バイキングを男子、女子と分かれ行ってきました。例年通り、色とりどりの料理、デザートが並んでおり、これから食べようか悩まれています。各々、好きな料理を食べ、デザートを食べ、コーヒーで一服し、たくさん食べられて満足していました。



食事会

3月31日 4月6日

シャトルレーゼにて、円卓での食事を希望された方のご様子をお知らせします。大きな会場、静かに流れるBGM、そして色々なお料理が配られ、順番に完食していきました。ゆったり流れる時間で、大変満足されていた様子でした。



居宅生活訓練事業

今年度は三名の方が居宅生活訓練事業に参加されます。意気込み等をインタビューしましたのでご紹介いたします。



★片山哲也さん★

今年に入って就労し、今年度中の退所を目標に訓練に参加したいと思えます。就労・施設生活・居宅生活のバランスをとりながら、頑張っています。



★小森明さん★

施設の中の作業、当番などを継続的に頑張る、外作業についても体調を考えながら参加していきます。また、居宅生活の中でやりたいことを見つければ、相話し行っていききたいと思っています。



★及川剛さん★

先月から食事を作ることを始めたので、色々なことに挑戦をしています。下宿等に行けるように訓練をしていきたいと思っています。色々なことが今後求められますが、頑張っていきたいと思えます。

行事の様子はホームページにも載っています。是非ご覧下さい。
<http://www.fukushien.sapporo-koseikai.jp>

お疲れ様でした



介護職員 川崎 彩

皆様のお蔭で、毎日楽しくお仕事ができて、感謝々の十三年間でした。皆様、体調に気を付けて、楽しい毎日をお過ごし下さい。

年間の主な行事

- 4月 カラオケ交流会
- 5月 バスレク
- 6月 日帰り旅行、遠足レク
- 7月 夏祭り、マイプラン旅行
- 8月 花火大会、盆踊り、バスレク
- 9月 パークゴルフ大会、宿泊旅行
- 10月 バスレク、お茶会レク
- 11月 バスレク、開設記念行事
- 12月 園内演芸鑑賞会、クリスマス会
- 1月 新年会、園内カルタ大会
- 2月 節分、園内ゲーム大会
- 3月 食事会、ひな祭り演芸会

新しい担当です!

- | 特別棟 | 男子棟 |
|---|-----------------------------------|
| 廣川 一美
平山 百合
工藤 浩弘
太田 鈴太 | 賀名 盛
木村 佐々木
美枝子
利恵
慶太 |
| 女子棟 | |
| 後藤 美和
原田 由美
馬場 純子
堀井 美千
佐藤 千春 | |

入所者の動き

- 入退院
 - 千石 幸男さん 十二月二十四日～三月二日
 - 青木キミエさん 一月七日
 - 中野 光子さん 一月二十一日
 - 佐藤 秀子さん 二月四日～二月九日
 - 春木 松吉さん 二月十五日～二月二十四日
 - 大竹 幸徳さん 二月二十五日～三月四日
 - 藤本 まつさん 三月十六日
- 入所者
 - 森本 幸司さん 三月一日付 (白石区)
 - 古川 幸男さん 三月七日付 (美唄市)
 - 大高 民子さん 三月十四日付 (三笠市)
 - 斉藤美恵子さん 四月一日付 (札幌市)
 - 尾城 松夫さん 四月十一日付 (札幌市)
 - 佐藤 安男さん 四月十四日付 (岩見沢市)
- 退所者
 - 蜂谷 光子さん 一月三十一日付 (長期入院)
 - 一時保護 一月一日～三月三十一日
 - 入所者四名 ・ 退所者四名

静心寮だより

平成二十八年年度事業計画について

寮長 福嶋 拓明

社会福祉法人の在り方等に関する検討会において議論されたテーマの一つとして「地域における公益的な活動の推進」があります。

また、昨年度より施行されました生活困窮者自立支援法は札幌市との連携を密にし地域移行に協力すると共に、本年度も「個別支援計画」に基づき生きがいのある支援を「居宅生活訓練事業」の継続を進めて参ります。

〈重点目標〉

一、生活意欲の醸成 日常生活を通して生活の主体者としての「自覚」と「自主性」を養い、施設内（ADL）自立を目指す方と、短期地域移行を目指す方々の実現を図ります。

二、健康管理 嘱託医と連携を密にし「日常の観察」に重点を置き、疾病への対応と早期発見・早期治療に当たると共に感染対策及び、各種検査等の実現を図ります。

三、給食 食堂カウンター改修に伴い、セルフ配膳の実施を試み新年度は三食とも実施します。外食レク、選択食の充実を図り、食事時間の見直しを検討し『楽しみな食事』となるよう利用者さんの声を反映します。

四、環境整備 高齢化、重度化による日常生活動作（ADL）の見直しに基づき、保守点検を含む『施設整備』を継続します。

五、虐待・拘束の防止 身体拘束を含め個々の人権を充分尊重した対応を心がけ、御家族との連携を図り安全確保に努めます。

六、防災・訓練 『職員非常呼集』を継続し、施設としての危機管理意識を高め、高齢化、重度化に対応した「介助避難」「夜間訓練」に重点を置き防災用品の充実も図ります。

七、地域交流 今年度も施設主催行事等には『ボランティア』としての協力もお願いし白石区社会福祉協議会による地域の福祉除雪への参加と、地元町内会事業による地域高齢者世帯の見守り活動にも参加協力します。

八、家族との交流 毎年の帰省に加え、刊行物（みちしば）の発行による「情報の開示」と、施設行事に来て頂く事、又、『ホームページ』の活用も図りの理解を深めて行きます。

九、緊急一時保護 必要不可欠な事業として、行政と連携し、社会的ニーズに対応すべき『セーフティネット』の役割を果たします。

十、マニュアル対策 各種マニュアルの整備を行うと共に、『実践的なマニュアル』に取り組みます。又、『第三者評価』の結果も生かします。

十一、職員体制 配置基準の厳守、業務の見直し、日常生活動作（ADL）の変化に対応した「勤務体制」を確立し処遇の向

上に努めます。又、職員の資質向上の為「内部研修」の充実を図ります。

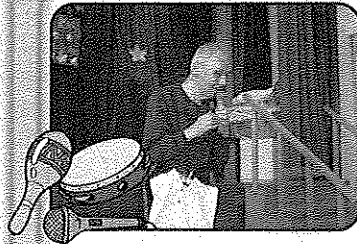
十二、職員処遇 職員処遇面では給与改善を図り、職員の労働意欲の低下をきたさぬよう積極的に取り組み、『定員確保』を重点に運営して参ります。

月別年間行事予定

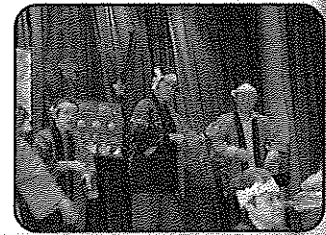
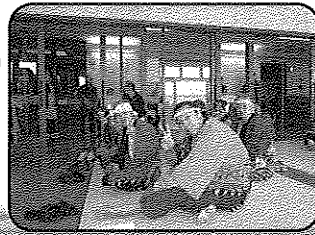
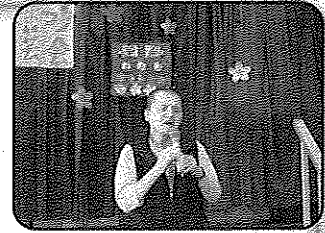
- 五月 第六十三回開設記念行事
ビデオ上映
- 六月 一泊旅行（定山溪） 野球観戦
コンサート
- 七月 演芸会 さとらんど
トンデンファーム
- 八月 七夕合同盆踊り 花火大会
白い恋人パークビデオ上映
- 九月 敬老会兼演芸会 秋祭り
円山動物園 東明寮姉妹施設交流
- 十月 一泊レク（遠距離）
サンピアザ水族館
- 十一月 食事会
- 十二月 餅つきクリスマス兼演芸会
年越し
- 一月 書初めビデオ上映
障がい者歩くスキーの集い
- 二月 節分ゲーム大会
ミニコンサート
- 三月 ひな祭り兼演芸会
誕生祝（毎月）
外食とシヨッピング
（グループに分けて実施）
- その他

ひな祭り兼演芸会

●3月3日●



静心寮の演芸会はいつも賑やかです。今回のひな祭り兼演芸会も大変盛り上がり楽しく過ごせました。
この日の昼食は海老が乗ったちらし寿司と菜の花の辛し和え、蛤のお吸い物、茶わん蒸しにイチゴと、とてもひな祭りらしいメニューでした。



今年も年男、年女の皆さんを先頭に凶暴な鬼を二匹も追い払っていただきました。
痛めつけられた鬼はその後、いつものやさしい職員に戻ったそうです。
めでたし、めでたし。



節分

●2月1日●



冬の晴天。とても気持ちが良い日に今年もいい汗を流してきました。今回は三名の利用者さんが参加し、みなさん三千口のコースを完走しました。

●1月17日●

障がい者若くスキーの集い

ゲーム大会

●2月17日●



ジャンボカルタ、ジャンボジエンガ、オセロ、将棋、トランプ、麻雀とそれぞれ好みのゲームに参加され、楽しい時間を過ごしました。



北海道教育大学岩見沢校の音楽サークル「MOIM」(モイム)の皆さんが今年もミニコンサートに来寮してくださいました。毎年恒例となつてきているこのコンサートを利用者の皆さんも楽しみにされています。ピアノや管楽器の生の演奏を今年も懐かしい楽曲を中心に楽しむことができました。

ミニコンサート

●2月16日●

居宅生活訓練事業

今年度は、新たに二名の利用者さんが、居宅生活訓練を行います。訓練への意気込み等について、原稿を依頼しました。また、二名の方が訓練を終了しましたので、感想などを書いて頂きました。※原文のまま掲載しています。

《訓練開始者》



久保 信幸氏
お陰様で、病状、体調が良くなり、四月から居宅生活訓練を行うことになりました。

訓練では、病状、体調の不安をなくし、一人暮らしができるよう、マイペースで頑張っています。訓練をとおして、一日も早く自立して生活が出来る様、頑張っていこうと思います。みなさま、よろしくお願ひします。このような機会を、あたえてくださって、感謝しています。



田中 俊子氏
居宅生活訓練の開始にあたって、不安がいっぱいだが、希望の光を求めて歩いていくことしかないと考えています。

《訓練終了者》



佐々木 公生氏
お陰様で、三月を持って静心寮の居宅生活訓練を終る事になりました。予定通りに終了する事が出来ました。環境美化に力を注ぎ、春秋の一斉清掃、冬の雪はねに進めていきました。こうした色々な取り組みが勉強になりました。食事も三食摂ることに満足できる結果ではありませんでした。長い間本当にありがとうございました。



西大條 充氏
私は、居宅訓練をはじめて二年なりますが、その間、職員の指導により、体重が、八十五キロから六十六キロまで、痩せました。

それから、今年の五月ころ、就職する予定であります。これからは、二度と静心寮に戻る事の無いよう頑張りたいと、思っています。居宅訓練は、これからの生活、一人暮らしに役に立つ事だと思っています。これからの事について、とても良い勉強になりました。

☆ホームベーン紹介☆

行事の様子はホームページにも載っています。是非ご覧下さい。

http://seishinyo.sapporo-koseikai.jp/

新しい担当です

- 男子 由美 門田 ひとみ
・ 廣瀬 可那子 栗村 晃子
・ 香川 由紀子
女子 一恵 鈴木 希望梨
・ 石川 文子 尾上 希華
・ 藤本 真砂子 吉井 美折
・ 吉井 真砂子 友江 美折
・ 介護 友江 美折
・ 長谷川 佳代ち
・ 石田 みさ裕子
・ 新堀 裕子

よろしくお願ひします



総務課長 五十嵐 象平
三月一日付で採用となりました。五十嵐 象平(いからし しょうへい)です。社会福祉施設での勤務は初めてですが、一日でも早く利用者様や職員の方々のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願ひ致します。



介護職員 石田 みさち
四月から、正職員として新たなスタートとなります。日々の業務が複雑になり不安ではあります。入所者様の生活を支援できる様に努めて行きたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。



介護職員 永田 美奈子
契約職員を経て、四月から正職員として採用して頂くことになりました。先輩職員の方に指導していただきながら頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

入所者の動き

○入院

福田田 鶴子さん 十一月二日～二月一日

二月九日

成田 哲さん 一月十三日～二月二日

佐藤 康志さん 二月十五日

川原 岩子さん 三月三日

宮川 倫子さん 三月十五日

岩崎 義彦さん 三月十五日～三月二十二日

○入所者

細海 光二さん 二月一日付 札幌市

岩間 信夫さん 二月十二日付 札幌市

関井 誠さん 三月二十三日付 室蘭市

開藤 慶蔵さん 三月二十八日付 空知総合振興局

間嶋 弘一さん 四月一日付 渡島総合振興局

○退所者

伊東 和美さん 一月三十一日付 釧路市(長期入院)

村井 正徳さん 一月三十一日付 札幌市(長期入院)

佐藤 マサ子さん 三月二十五日付 名寄市(高齢者)

近藤 文太さん 三月三十一日付 札幌市(長期入院)

○一時保護 一月一日～三月三十一日

入所者四名 ・ 退所者三名

静心寮老人デイサービスセンター

平成二十八年年度事業計画について

所長 石井 喜代美

平成二十七年介護保険法改正により、平成二十八年四月以降、小規模デイサービス（利用定員十八人以下）は、市町村が指定を行なう地域密着型デイサービスへと移行します。今回の改正では利用定員が十八名以下のデイサービスが地域密着型デイサービスとなり、当センターの定員は二十五名としていましたが、現状の利用人数と今後の収益も考え、定員を十八名に変更しております。以前の介護報酬改正で基本報酬が大幅に減額になり、今までの定員で継続していくと通常規模デイサービスに移行となった時の基本報酬が更に減額となってしまい、収益が今後も厳しくなってしまうと見えます。現状では地域性の問題と数多くのデイサービスが近隣にできていることから、十八名を超える定員確保が大変難しく、地域密着型デイサービスへの移行が望ましかったと考えています。

各市町村が指定権者となる地域密着型デイサービスは、一般的に公募制が採られません。今後は、自由に開業が出来なくなり、市町村が枠を定めて募集を行い、事業を行いたい事業者は応募をして選定されなければなりません。

これからは簡単に移行できなくなることも今回の定員変更の理由の一つであります。しかし、次回は平成三十年に介護報酬の改定があり、地域密着型デイサービスが更に不利な体制を強いられる可能性も高いため、今後の動向も調べながら、経営を見直していくことが必要であります。

今後の安定した経営体制のためには収入の増加が必要不可欠であり、それには新規の利用者様の獲得はもちろんですが、現在利用中の方の利用日の増加と欠席回数を減少していかなければなりません。利用日を増やすことについては、一人一人のニーズを把握し、楽しみに来て頂ける環境づくりと生活の手助けになることを視野に入れたサービスに努めていきます。欠席回数を減らすことについては、安全に過ごせることを重点に置き、健康管理をしっかりとしていくことに努めます。ちょっとした風邪などでお休みが続く方もおり、入院といった長期のお休みでは致命的な収入の減となりますので、感染症や転倒の予防も気をつけていかなければなりません。

利用者様を紹介頂く居宅事業所との連携もこれまで以上に大切であり、担当の利用者様が安全に楽しく過ごせることが十分に伝わるよう、毎月の実績報告では事業所に足を運んで伝えていくことと、写真付きの報告書を活用するなど、当センターの中身を少しでもわかりやすく理解頂けるよう努めていきます。

月別年間行事予定

- 四月 風船当て、色合わせゲーム、サッカー
 - 五月 リンボーお手玉、バックゲーム、ボウリング
 - 六月 ビンゴ、大運動会
 - 七月 釣り、ボール転がし
 - 八月 夏祭り、ビンゴ、はねとばし
 - 九月 敬老週間、リンボーお手玉
 - 十月 射的、ボウリング、風船ゲーム
 - 十一月 サツカー、色あわせゲーム、クリスマス制作
 - 十二月 はねとばし、クリスマス兼忘年会
ボールゲーム
 - 一月 獅子舞披露、新春カルタ大会、豆まき
 - 二月 カーリング、ワカサギ釣り、ひな祭り制作
 - 三月 ビンゴ、ボウリング
- ※月例行事としてゴルフ大会を実施。

車椅子の寄贈をいただきました

三月十一日、三洋電機洋友会北海道地区様から、法人に「プルタブを集めて車椅子を贈ろう」運動による車椅子の寄贈がありました。今回はデイサービスセンター利用者様のために使わせていただきます。



厚生会だより

事業方針

社会福祉法人制度の意義、役割を問い直す厳しい指摘がある中、社会福祉法人の役割や存在意義が広く認識され、今後も福祉の担い手として地域住民等から信任を得続けるためには、制度で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献の必要性が求められます。

平成二十八年度の最重要課題としては、社会福祉法改正法案を受け社会福祉法人制度の改革案が上げられています。

その視点としては 一、公益性・非営利性の確保 二、国民に対する説明責任 三、地域社会への貢献、つまり福祉を通じて地域社会に貢献することが法人本来の責務と位置づけています。

主な内容としては ①経営組織のガバナンス(統治・統制)の強化 ②事業運営の透明性の向上 ③財務規律の強化 ④地域における公益的な取組を実施する責務 ⑤行政の関与の在り方です。

又、支援ニーズは益々多様化して来ており、当法人としてはサービスの質の向上、人材育成、給与改善、第三者評価の受審、会計監査人の導入、理事会・評議員会等の機能強化に努めると共に、社会福祉法人が地域社会の目線に立ち、重要な社会資源としての公益性を発揮していかなければならないと考えます。

今後は制度の改革をしっかりと見極めながら、利用者さんが健康で安心、安全に暮らせるよう健全な施設運営を心がけ、その内容を実行性のあるものしていかなければなりません。

そして、法人の基本理念である「人とともに、人のために」を踏まえて、利用者さんの人格

人権の尊重、その人らしい自立した生活の確立、ならびに生きがいと喜びのある生活ができるよう努めて参ります。

《重点目標》

- 一、利用者さんのニーズの把握と、人権尊重の生活援助
- 二、質の高いサービスの提供
- 三、虐待、拘束の防止
- 四、防災対策と危機管理意識の高揚
- 五、環境整備と安全対策の推進
- 六、関係法令の遵守(コンプライアンス)と情報開示

- 七、人材確保と職員の資質向上
- 八、ヒヤリハットの活用と職員相互の牽制
- 九、地域における公益的な活動の推進
- 十、法人組織の体制強化と運営の透明性確保

役員人事

三月二十四日に開催された評議員会で監事の退任・選任が左記のとおり承認されました。

- 〔退任〕渡辺 彰恭(三月二十四日付)
- 〔新任〕小平 正治(三月二十五日付)

(白石区社会福祉協議会事務局長)
(任期：平成二十九年五月一日までの残任期間)

苦情解決第三者委員

苦情解決第三者委員の選考、選任が、三月二十四日の理事会、評議員会にて左記のとおり行われました。

- 〔退任〕渡辺 彰恭(三月三十一日付)
 - 〔就任〕小平 正治(四月一日付)
- (社会福祉法人札幌厚生会監事・白石区社会福祉協議会事務局長)
(継続)高橋 静恵(四月一日付)

職員の異動

〔退職〕白石福祉園

- 山崎 彩・介護職員(二月二十九日付)
- 採用 静 心寮

- 五十嵐 象平・総務課長(三月一日付)
- 石田みさち・介護職員(四月一日付)
- 永田美奈子・介護職員(四月一日付)

みちしば編集委員の紹介 ☆新任

- 静 心 寮
- 木下 直彦 ☆魚谷尚宏 ☆長谷川佳代
- 白石福祉園
- 松浦レイ子 ☆高橋 寛 ☆松本 梨花
- 札幌市あけぼの荘
- 谷口 美幸 福田 歩 ☆松賀 直美

札幌厚生会苦情解決実施報告

苦情解決実施要綱に基づく各適応事業所及び第三者委員への苦情等の申し出は、今号での報告分ではありませんでした。

ホームページ紹介
◎社会福祉法人札幌厚生会(法人本部)
soudokouka.or.jp
札幌厚生会でも「検索」できます。

個人に関する記事写真等については、全て本人の承諾を得ております。又、連載されている内容についてはこの機関紙以外に使用するものではありません。

あとがき

平成二十三年三月十一日に東北地方で発生した、マグニチュード9.0の大地震と巨大津波。あれから五年が経った今も、復興には皆様の協力が必要です。日本列島が新幹線で繋がったように、我々一人ひとりが協力し合い、住み良い環境作りに励みたいですね。(A)

発行日 平成二十八年四月十五日
社会福祉法人 札幌厚生会
総括責任者 石井 喜代美
編集担当 札幌市あけぼの荘 八六一―二八七八
印刷所 アスカー・ホク印刷株式会社